

名前の通り、冷涼な土地に生える野生のブドウ。つる性です。

秋、他の種類の木より先に、約 20 センチ前後の大きな葉が紅葉します。同時期に、果実も黒く熟します。雌雄異株。初夏に黄色い小さな花が咲き、雌株に果実が出来ます。甘酸っぱくてとても美味しい実ですが、他の高木に這いあがって大きな葉で表面を覆うので覆われた木は元気がなくなってしまいます。採取もたいへんです。

一般的にはそのまま果実で食べるよりも、ジャムやジュース、ワインなどに加工して楽しめます。八幡平市は収穫量日本一です。

樹皮は、縦に長く繊維状に剥がれて特徴的なので、サルナシなど他のつる性の木と見分けられます。つるの内部繊維は強靱で、一度ねじってから使うと綱の代用にもなります。また、表皮を細かく剥いで履き物やカゴなど生活用具として、昔から利用されてきました。

春の芽吹きはピンク色をしてとても可愛らしく、出てきた新葉はまるでフェルトのよう。厚みがあってふかふかで、触るととても幸せな気分になります。また、葉っぱに時々見られる虫こぶ（ヤマブドウハトックリフシ）は真っ赤な不思議な形をしていてとても美しいです。



紅葉 2019 年 10 月 7 日



冬芽 2020 年 5 月 2 日



芽吹き 2020 年 5 月 12 日



新葉 2020 年 5 月 17 日



雄花 2020 年 6 月 30 日



虫こぶ 2020 年 8 月 3 日



熟した実 2020 年 10 月 9 日